

## 2025年2月幹事会議事録

日時：2月16日(日) 10:00~12:10

会場：連絡室 ZOOM 併用

出席：(会場) 谷、甘利、阿部、井上、神戸、小平、佐久間、野口、山田、  
(傍聴) 山本(真) 会員  
(ZOOM) 勝又

### 1 報告事項

#### (1) 学内状況

#### (2) 事業報告

##### 1) 2~3月事業準備進捗状況確認

###### ① 2月19日 野川ウォーキング+深大寺散策 (山田)

学生申込者18名、引率3名(山田、甘利、神戸)で予定通り実施する。

###### ② 3月1~3日 ふじのくにツアー (谷)

数時間で募集停止するほどの応募があったが、定員の15名で実施する。

付添者は全行程が甘利、初日のみが北村、神戸、山本

・3月1日の昼食、バス代として一人3000円⇒全額自己負担

###### ③ 3月22日(土) 府中さくら祭り民踊流し (谷)

・現時点で申込者8名。

・民踊講習を3月11日(火)、3月14日(金)に交流ホールで実施予定

###### ④ 4月4~5日 春期バザー (井上、小平)

・後期退寮者数は前期より少数だが、物品は予想以上に集まっている。廃棄されそうな物品も回収している。

・3月24日から同月28日迄毎日開室して会員等からの寄贈物品を受け取り整理する。

・バザー事前準備のため次回幹事会は3月30日とする。

##### 2) 学生への経済的支援事業の状況 (甘利)

###### ① 緊急生活資金貸付

・20万円実施中(上限30万円)。約1年かけて回収予定。

1人目は修士号を習得して就職も決まり、回収の見込みは高い。

2人目はアパートの入居費用が嵩んでいるので貸している。

その為、あと10万円程余裕が有る。

###### ② 学会報告者旅費補助

・ほぼ予算額を執行しているが、後払いの為、4月にならないと確定出来ない。

年度明けに報告予定。

・次回幹事会までに支出(予定)状況の一覧表を小平幹事が作成し、見える化に努める。

##### 3) アッチャーラジオ(ラジオフチュウ)との協力による府中市民、学生への宣伝

・2月14日に谷、山本がスタッフと協議。先ずは3月18日に谷が出演し、支援の会の紹介もおこなう。当面事業の宣伝も行い、市民の参加、協力を呼びかける

・会のスポット広告、会員や留学生の番組出演の可能性があるので、実現していく。

当面は、山本(真)、谷がアッチャー側と交渉する(ライングループを結成済)。

### 3) 会報 78 号

・2月20日頃電子版配布、2月末紙冊子版発送予定 印刷1000部

### (3)連絡室関係

・2月中はお休み、3月に就いては開室の予定。

### (4)組織

・会費振り込みが3名、寄付0名。

### (5)その他

・会報78号に、笹岡会員の追悼特集と、田中会員の訃報を掲載した。訃報等に関する掲載基準が無いので、何らかの基準を設ける必要がある(次回検討課題)

## 2 審議事項

### (1) 2025年度事業の計画、準備

#### 1)4月～5月期の事業提案の検討

##### ①JAXA 航空宇宙センター等の施設公開日見学 (小松会員提案)

4月20日JAXA見学を実施する方向で、施設側と交渉する

##### ②高尾山ハイキング (山根幹事提案)

・5月18日実施、雨天の場合25日(日)に順延を決定した。詳細は3月幹事会で審議。

##### ③能・狂言鑑賞教室 (谷提案)

・6月28日(土)13:30開場の国立能楽堂6月能楽鑑賞教室公演を鑑賞する。

・募集定員30名、引率者5名。チケット(1500円)は即時予約する。

・終演後、交流会開催の時間はあるが、実施に関しては会場、料金等を調べてから決定する。

#### 2)年間活動計画案の検討

・会費収入減が継続する状況の下で今年度は事業(支出)規模を維持した。次年度も、不要な経費の節約には努力するが、入会者減→事業減→入会者減という悪循環を避けるためにも、事業の縮小は行わず、むしろ積極的に取り組むという基本方針を確認した。

### (2) 4月入学時の活動

#### 1)新留学生への会の働きかけ

①新留学生全員に配布される会の紹介文書に関しては、内容を見直して必要な改定を行う(担当山本(真)会員)、

②3回のオリエンテーションは各回の担当が対象留学生に応じた5～10分間のプレゼンを考案し、実施するが、それ以外の幹事、会員も要請があればプレゼンの盛り上げに協力する。

③上記宣伝、広報の改善効果の目安として、留学生歓迎アンケートの回答率向上を目指す。

#### 2)入学式随伴保護者への入会宣伝

・入会者拡大のため、出来ることはすべてやる。

- ・形態は昨年と同様となるが、保護者の関心をひきつけるパフォーマンスが必要。
- ・留学生 10 名程度に、出来れば民族衣装で協力してもらおう
- ・バザー会場見学も、昨年以上に積極的に訴える

次回 3月 30日